

私の好きな事

武富 伊万里

私は手紙を書く事が好きです。気持ちのこもった手紙は、短くても、下手でも、とてもうれしい気持ちになります。

私のおじいちゃんとおばあちゃんは静岡に住んでいます。二才の頃からおばあちゃんは、シールやパン、かわいい絵はがきなどと一緒に手紙を送ってくれました。まだ字が読めない頃はお母さんが読んでくれました。か

わいりキヤラクターのふせんやカードにちよこ」と書いてある物も多かったです。お母さんはこの手紙を、私の部屋のドアにはつけていました。気づけばドアはおばあちゃんからの手紙でいっぱいになっていました。私はその頃からおばあちゃんからの手紙に元気をもらっていました。

近頃おばあちゃんとは、だんだん体も弱くなってきました。私はおばあちゃんを元気づけてあげたいと思いました。私はこん

な時どんな事をしてあげたらいいのだろうと
 考えた時に、おばあちゃんから「ドア」いっば
 いの手紙を思い出しました。それから私は、
 おばあちゃんに手紙を書き続けています。私
 からの手紙も、おばあちゃんの手紙になっ
 ているといいなと思います。

私は本を読む事も好きです。まだ一才にな
 る前から、今でもずくと静岡のおじいちゃん
 おばあちゃんから毎月一冊本が届きます。ふ
 っくくぐふっという所から年齢に合った本が

毎月届くシステムで、小さい頃は絵本でした。
 最近では長めの物語の本になってきました。
 お父さんが仕事で東京へ行った時もおみや
 げにいつも本を買ってきてくれます。お
 父さんからの「おみやげ」の本は、小さい頃は世
 界の昔話の絵本が多かったです。最近では「ハ
 リーポッター」や「ネコ」に関する本など、
 私が大好きな物につながった本が多くなりました。
 た。そんなわけで、私にとっても本は小さい頃
 から身近にありました。

私は学校の宿題をきっかけにすごくおもしろい本を見つけました。これは晴れ池をさがして凸という本です。その本の最後にはお手紙お待ちしています。とありました。私はこの本の作者「宇佐美牧子先生」に手紙を書きました。私はこの手紙が宇佐美先生に届くと思うとむねがいっぱいになりました。そこでびっくりな事に宇佐美先生からお返しの手紙が届きました。私はうれしくてうれしくてたまりませんでした。私は手紙に「しよらうらは絵本作家になりたいです」と書きました。宇佐美先生は「しよらうらいはぜひたくさんの子ども達をわくわくどきどきにさせてあげてください」とかいてあり、私はその言葉にすごくパワーをもらいました。たくさんのフアンの方がいる中、私にお返しの手紙を書いてくれたことは私は一生の思い出になると思います。

私は本を読むことで、想像するということも教えてもらい、心の勉強をすることもでき

ました。そしてなによりわくわくどきどきの
気持ちにさせてくれます。

手紙を書く事で、口に出そうとするとはず
かしくて言えないような感謝の気持ちを伝え
る事ができます。そして、電話やメールより
も気持ちが伝わるような気がします。これが
ラネットが進化していく中でも、心を豊かに
できて、気持ちを伝えることのできる本や手
紙の文化はずっとあり続けていてほしいです。